



地形

陣ヶ下溪谷公園

所在地:保土ヶ谷区川島町



平成16年に公開された公園で、陣ヶ下の地名は、源頼朝の家臣である和田義盛がこの近辺に狩のための陣を張ったことに由来している。木もれ日の差し込む森、涼しげな水の流れ、その水に侵食された岩場など、横浜市内では唯一、溪谷としての景観を保っている。また、公園内には「うろうろのお誘い」と題されたパネルが随所に設置され、歩いて楽しめる空間づくりがなされている。

*周辺には私有地がありますので、園路を外れないでください。



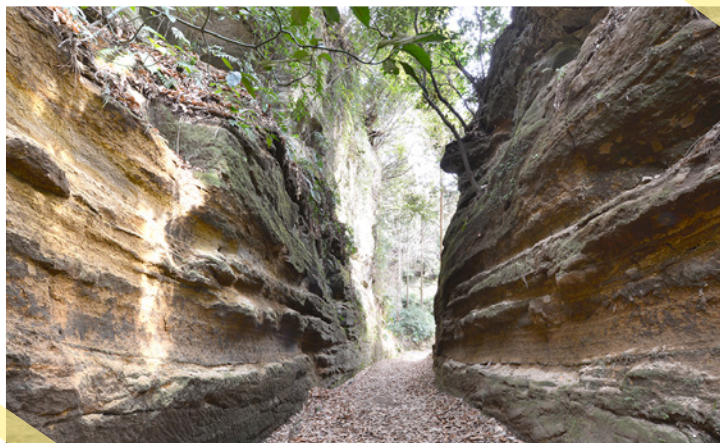
あさ い な きりどおし

朝夷奈切通



地形

所在地:金沢区朝比奈町



鎌倉の十二所(じゅうにそ)へ通じている鎌倉七切通の一つで、鎌倉の地勢と外部との連絡状況を示す貴重な史跡であるため、昭和44年に国の史跡に指定された。直線的に切り開かれた地形を体験できる豊かな緑で囲まれた静かな山道であり、特徴的な景観が広がっている。

※切通は長さ約1キロメートルの山道です。足元及び落石、倒木に十分気をつけてご通行ください。





円海山及び氷取沢市民の森

所在地：磯子区峰町、氷取沢町



円海山周辺は昭和44年に「円海山近郊緑地特別保全地区」に指定されており、まとまりのある緑地が残っている。緑地内には複数の広場や遊歩道が整備され、起伏の富んだ地形を散策して楽しむことができる。野鳥や虫の音、清流のせせらぎを感じられる場所もあり、自然を肌で体感できる。





飯島市民の森 及び飯島せせらぎ緑道

所在地: 栄区飯島町



市内で最初に開園した市民の森とその山裾を流れる小川沿いの散策路。市民の森には、高台から遠くの景色を見渡せる「白幡の森広場」をはじめ、大小様々な広場があり、それぞれを繋ぐ道を歩くと、起伏に富んだ地形を体験できる。せせらぎ緑道からは川の流れの美しい音が聴こえ、訪れる者に安らぎを与える。





三溪園

所在地：中区本牧三之谷



実業家原三溪が明治39年に開園した敷地面積17.5万㎡に及ぶ広大な日本庭園。国内各地から移築された歴史的建造物17棟が自然豊かな園内に配置されており、臨春閣など10棟は重要文化財に指定されている。梅や桜、ツツジ、紅葉など四季折々の花々と大池、歴史的建造物群の調和した景観は訪れる人々を楽しませている。

なお、平成5年度に第5回まちなみ景観賞を受賞している。





称名寺

所在地：金沢区金沢町



1258年頃北条実時によって創建された金沢北条氏の菩提寺で、現在の庭園は昭和62年に修復されたもの。寺を囲む金沢三山を背景に、本堂前の阿字池(あじがいけ)とそこに架かる朱塗りの反橋・平橋、歌川広重が描いた金沢八景の一つ「称名晩鐘」とされる鐘楼が一体となった浄土式庭園は美しく、四季折々の景観が体感できる。また、赤門から仁王門までの参道も春になると桜吹雪が舞い、多くの人々を楽しませている。なお、称名寺境内は大正11年に国の史跡に指定されている。





俣野別邸庭園

所在地：戸塚区東俣野町



戸塚区の南端に位置する風致公園。高低差のある地形が特徴で、外苑と内苑に分かれている。外苑では四季折々の様々な花木や草花を楽しむことができ、内苑には平成29年4月に復元公開された市認定歴史的建造物の和洋折衷住宅「俣野別邸」を中心とした芝庭が広がっている。晴天時には、外苑や俣野別邸の展示室から丹沢山系や富士山を望むことができる。





ポートサイド公園

所在地：神奈川区大野町



アート&デザインをコンセプトとした街づくりが行われているポートサイド地区に位置する、デザインコンペによってつくられた公園。「うねる芝生」と呼ばれる特徴的な芝生や、運河沿いに約400m続くプロムナードと木製デッキでは、子どもたちが水や緑に親しみながら楽しむ様子が伺える。





六ツ川中央公園

所在地：南区六ツ川一丁目



東西2つの丘陵地の地形と自然を活かして整備された公園。園内に設けられた散策路や所々に設置されたテーブルやベンチにより、起伏に富んだ地形を歩いて楽しみ、芝生から雑木林まで多様な緑を体験できる。春には桜やツツジが綺麗に咲き、心地良い空間である。



かたびら がわ



川辺公園と帷子川親水護岸

所在地:保土ヶ谷区川辺町



河川改修や分水路の整備による治水対策と共に、川辺公園と帷子川護岸の整備が行われ、一体的な親水施設となった。プールのある公園と、隣接する川と身近に触れ合える親水護岸は、子どもたちで賑わっている。このゆとりある親水空間は、平成7年度に第6回まちなみ景観賞を受賞した。





本郷ふじやま公園

所在地: 栄区鍛冶ケ谷町



竹林・くぬぎ林・杉林など里山の自然が残る公園で、林の中には複数の道があり、散策することができる。また、古民家ゾーンにある市指定有形文化財の「旧小岩井家住宅主屋および長屋門」では、季節に合わせたイベントが行われ、その歴史を身近に感じることができる。





鶴見川河口干潟「貝殻浜」

所在地:鶴見区生麦五丁目地先



鶴見川河口の右岸は、いつしか干潟が形成され、カニや稚魚などの多くの生き物が生息し、貴重な河川環境となっている。平成19年の築堤工事完了にあわせ、人々が鶴見川に触れ合えるよう、この貴重な河口干潟を残し、親水広場が整備された。平成23年度に第5回横浜・人・まち・デザイン賞まちなみ景観部門を受賞した。





広場

根岸森林公園

所在地: 中区根岸台



日本初の洋式競馬場の跡地を整備し、昭和52年に開園した公園。約19haの雄大な敷地に広がるなだらかな丘陵とその芝生広場には、日ごろから多くの人々が訪れ、憩いの場となっている。また、広場の周囲には緑豊かな森が広がり、四季折々の景観も素晴らしく、特に桜の時期には花見の客で賑わいを見せる。





横浜ビジネスパーク

所在地:保土ヶ谷区神戸町



区内のビジネス拠点でもある3つの高層ビル群が立ち並ぶなか、屋外・屋内に彫刻や絵画がいたるところに展示されており、ドラマや映画の撮影場所として使用されたり、夏にはホテル観賞イベントなども開催されている。中央には「水のホール」を中心とした円形の公園「ベリー二の丘」があり、音楽ライブやキャラクターのショー等が行われる。





センター南広場(すきっぷ広場)

所在地:都筑区茅ヶ崎中央



センター南駅前に位置する、階段状のウッドデッキでできた広場。屋外ステージでは休日に様々なイベントが行われ、駅の利用者や買い物に来た人も足を止めてイベントを楽しんでいる。家族や友達同士でお弁当を広げていたり、遊んでいたりと笑い声が絶えることのないこの広場は、公共機関や商業施設が立地するセンター南駅前の賑わいの中心となっている。



すげ た は ざわ

菅田羽沢農業専用地区



所在地：神奈川県菅田町・羽沢町



区内の農業生産の大部分を担う農業地域で、広大なキャベツ畑の農景観が広がっている。遠くまで見渡せ、広々とした空間を感じることができ、キャベツ畑越しにランドマークタワーや富士山の見える場所もある。





舞岡ふるさと村・舞岡公園

所在地：戸塚区舞岡町



舞岡川源流域には市民の森である舞岡ふるさとの森を含め、谷戸が保全されており、美しい田園景観が広がっている。エリア内には幾つも散策路があり、四季折々の草木を楽しめる。舞岡ふるさと村や、舞岡公園内の小谷戸の里(横浜市認定歴史的建造物「旧金子家住宅主屋」)を中心としたエリア)で季節の行事や農業体験が実施されており、農景観を見るだけでなく実感することができる。



にいほる

新治市民の森・新治里山公園



農地

所在地：緑区新治町



新治市民の森と新治里山公園周辺の水田・畑及び台地の畑からなる谷戸と、恩田川・梅田川沿いの水田の地域では、米や野菜の栽培、農業教室や収穫体験の実施など、「農」をきっかけとした地域ぐるみの活動が盛んである。この広大な谷戸景観は農村の原風景といえる。





折本農業専用地区

所在地：都筑区折本町



このエリアは、港北ニュータウン計画の一環として、優秀な農地を計画的に保全し、積極的に農業を振興するため、農業専用地区に指定されている。高台に位置しているため、約43haに及ぶ広大な農地を見渡すことができる。





寺家ふるさと村

所在地：青葉区寺家町



里山と谷戸田が美しい田園景観を創り出し、春は桜と新緑、夏は水田の緑のじゅうたん、秋は黄金色の稲穂と紅葉、冬は木枯らしと、四季折々の変化を楽しむことができる。農業用水を確保する5つのため池と、それらを繋ぐ散策路の設けられた市民の森である寺家ふるさとの森では里山を体感でき、季節ごとに開催される野鳥観察会等のイベントでは谷戸田の自然や営みを肌で感じることができる。





大岡川(中流域～河口・下流域)

水辺(川)

所在地: 中区・南区



全長約14kmの二級河川で、春になると川沿いの桜が満開になり、水辺と調和した美しい景観を生み出す。特に与七橋から太田橋にかけて大岡川プロムナードが整備されており、川沿いを散策できる。また、毎年行われる「大岡川桜まつり」では川を中心に様々なイベントが催され、多くの人で賑わう。近年、SUPやカヌー、ボート等のアクティビティによる水上活用も進んでおり、水上からの景観も楽しむことができる。





堀割川(天神橋～下流域)

所在地：磯子区



全長2.7kmの南区と磯子区にまたがる人工運河。明治7年に完成するも、関東大震災により被災し、現在見られるのは震災復興工事によって造られたもの。当時の親柱が現存する八幡橋や、再整備の際に親柱を再利用し灯具を復元した天神橋、連続して残る石積護岸などにより当時の水辺景観の面影を感じることができる。なお、平成22年には土木学会選奨土木遺産に認定された。





水辺(川)

柏尾川

所在地：戸塚区



延長約11kmの二級河川で、両岸には約700本の桜が植わっており、プロムナードが整備されている区間には、春になると多くの人々が花見に訪れる。桜橋周辺の水際にはステージや川へアプローチできる階段があり、毎年開催される「戸塚桜まつり」では川堤や河川敷を巡る「花見踊りパレード」のほか、太鼓演奏などの地域芸能が行われる。また、7～9月にかけては絶滅危惧種のミズキンバイの黄色い花が咲く様子が見られる。





水辺(川)

平戸永谷川プロムナード

所在地：港南区下永谷二丁目～六丁目付近



平戸永谷川は、港南区内ではほぼ環状2号線と平行して流れており、般若寺近くの中流域から上流までの約1.5kmの川沿いはプロムナードとして整備されている。幹線道路から一本入ると、花壇やベンチが点在する、水と緑を感じる心地良い空間が広がる。





水辺(川)

一本橋メダカひろば

所在地：緑区三保町



一級河川鶴見川の支流である梅田川の親水空間として平成12年に完成した水辺拠点。川の緩やかな曲線を活かした広場には中洲が作られており、自然の川の表情を実感できる。また、一本橋の下には流れに沿って木製のデッキが設けられており、水辺のすぐ近くを散策でき、夏になると川遊びをする子どもたちで賑わう様子が見られる。





水辺(川)

いたち川プロムナード

所在地:いたち川橋～天神橋



いたち川橋から天神橋までを結ぶプロムナード。昭和57年からの継続的な整備の中で、舗装やフェンスのデザインの統一や、桜並木を基本とした植栽の配置、ベンチやアート作品の設置などの工夫がなされ、連続した川辺の遊歩道として整備された。川には沢山の生き物が生息し、心地よい空間が生まれている。平成7年に手づくり郷土賞、平成23年には土木学会デザイン賞を受賞した。



堺区





中丸家長屋門・憩いのまほろば

所在地: 泉区新橋町



長屋門は明治時代中頃に建築されたもので、平成13年度に市認定歴史建造物に認定されている。平成12年に整備された憩いのまほろばによって、長屋門のたたずまいに河川の風景が融和し、人々が憩えるような魅力的な空間が生まれ、「中丸家長屋門とその周辺」は、第2回横浜・人・まち・デザイン賞まちなみ景観部門を受賞した。





水辺(その他)

海の公園

所在地:金沢区海の公園



昭和63年に、金沢地先埋立事業の一環として整備された、横浜で唯一の海水浴場を持つ公園。海辺には、約1kmにわたる砂浜と豊かな緑が広がり、海と人とが触れ合える貴重な憩いの空間となっている。潮干狩りや海水浴、砂遊び、ウインドサーフィンなど、様々な海辺のレジャーを楽しむ人で賑わう景観が見られる。



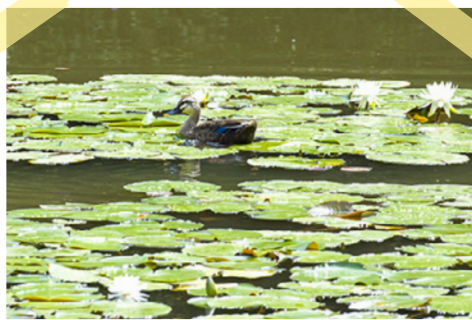


せせらぎ公園

所在地：都筑区新栄町



自然林に囲まれた大きな池のある公園で、自然豊かな園路は市民の散策路として親しまれている。池の畔には、江戸時代中期～後期に建てられ、昭和55年に移築復元された古民家「旧内野家住宅主屋」があり、池越しに見る古民家からは里山の風景を感じられる。池には水鳥の泳ぐ姿が見られ、また毎年6月頃になると、睡蓮の花が咲き、人々の目を楽しませている。





鶴見川沿いの遊歩道と桜並木

所在地：鶴見川橋～鶴見大橋付近



鶴見川沿いには長い区間に渡って数種類の桜が植わっており、また川が蛇行していることもあり、春になると遠くまで連続する桜の景観を楽しむことができる。特に潮鶴橋から潮見橋の区間は潮鶴橋水際緑道として遊歩道が整備されており、水辺の散策路として人々に親しまれている。





東海道保土ヶ谷宿の松並木

所在地：保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町



東海道の宿場町であったことを後世に伝えるため、「ヨコハマ市民まち普請事業」を活用し、平成19年に、街道の象徴であった松並木と榎の植わった一里塚を復元した。灯籠を模した街灯や、保土ヶ谷宿の歴史的背景や本整備概要を記した案内板の設置も含め、東海道の歴史を感じさせる景観が形成されている。





慶應義塾大学 日吉キャンパスの銀杏並木

所在地：港北区日吉四丁目



長さ 220m、幅 22mのキャンパス内の坂道にある約100本の銀杏は秋になると黄色く色づき、落葉と共に見応えのある景観が生まれる。新緑の時期も優しい緑に包まれ、心地良い空間である。駅から近いこの並木はキャンパスのシンボルとなっているだけでなく、散歩に訪れる人も多く、市民に広く愛されている場所といえる。





港南台マロニエ通り

所在地：港南区港南台三丁目・港南台五丁目



横浜港南台商店会創立10周年記念事業として、港南台まちづくりセミナーの中で「マロニエを港南台のシンボルツリーにしよう」という地域の人々の発案により実現したマロニエ並木道。平成6年の植樹開始以来、現在は約100本のマロニエが5月になると赤や白の花を咲かせ、港南台の四季を彩るシンボルツリーとなっている。





二俣川ニュータウン通りの イチョウ・トウカエデ並木

所在地：旭区今宿一丁目・二丁目、中沢二丁目・三丁目付近



相鉄線二俣川駅から二俣川ニュータウンに通じるニュータウン通りには、イチョウ並木とトウカエデ並木の2つの並木道がある。それぞれ新緑と紅葉の時期に美しい様子を見せ、道行く人を楽しませている。





大倉山公園梅林

所在地：港北区大倉山二丁目



大倉山公園梅林には、46種類、約220本の梅の木があり、毎年1月下旬～3月にかけて早咲き→中咲き→遅咲きと順番に開花し、長い期間梅を楽しむことができる。毎年開かれる「大倉山観梅会」では地域の人々による楽器の演奏等のイベントも行われ、多くの人々で賑わう様子が伺える。





西方寺のイチョウ

所在地：港北区新羽町



西方寺は1190年に創建された真言宗の寺院で、1495年に鎌倉より移建された。横浜七福神の恵比寿大神を祀っており、本堂や山門、鐘楼は市指定有形文化財である。背景の樹林と茅葺の建物群による一体的な景観が美しく、四季折々の花木は訪れる人々を楽しませている。特に山門近くの大イチョウは遠くからでもその立派な様子を見ることができる。





大石神社の桜

所在地：緑区長津田町



大石神社は、旧大山街道の宿場町、長津田宿の西方の小高い丘の上にある、長津田の鎮守である。境内には桜が植えられており、春になると花が咲き、美しい。地域で選定した長津田地区の見どころ「長津田十景」の一つ、「大石観桜(おおいしかんおう)」としても選ばれている。





中屋敷のケヤキ

所在地：瀬谷区中屋敷一丁目



中屋敷に多く残っている瀬谷区の木「ケヤキ」は、夏になると小路に適度な木陰をつくり、快適な散策を助けると共に、視界に入る緑によって安らぎを与えている。特に名木古木に指定されているケヤキは樹齢200年を超え、ひと際太くて大きく、地域の代表的な景観の一つになっている。





ごりょう 御霊神社のイチョウ

所在地：泉区中田北三丁目



鎌倉権五郎景正(かまくらごんごろうかげまさ)と日本武尊を祀る、旧鎌倉郡地域に多い御霊神社の1つ。樹木に覆われた境内には、清水が湧き出る池や名木古木に指定されているイチョウがあり、荘厳な景観をつくりだしている。なお、拝殿右横の小さな茅葺きの建物は、終戦まで中和田小学校の奉安殿だった建物で、木造の学校建築物としては区内最古のものである。





リバーサイドガーデン

所在地：鶴見区市場下町



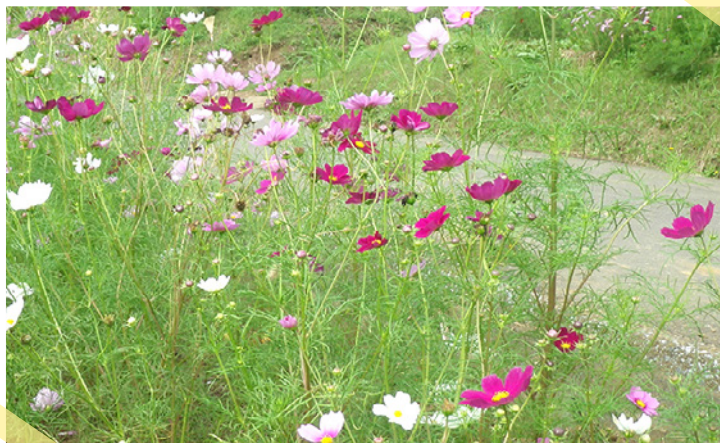
鶴見川橋の袂にある花畑。地域の人たちによって管理されている花畑は、春には菜の花、秋にはコスモスなど四季折々の花でいっぱいになり、鶴見川沿いを歩く人々を楽しませている。





氷取沢農業専用地区の コスモス

所在地：磯子区氷取沢町



氷取沢市民の森の入口にある農業専用地区では、その道路沿い500m以上を渡って、毎年秋になると色とりどりの区の花コスモスが咲く。このコスモスは沿道の地権者によって育てられており、周囲の緑に映える色とりどりのコスモスは、訪れる人々を楽しませている。





おいわけ やさし

追分・矢指市民の森の花畑

所在地：旭区矢指町



隣り合う追分市民の森と矢指市民の森の谷戸に広がる花畑では、春には菜の花、夏には向日葵、秋にはコスモスなど、四季折々の花々が辺り一面に咲き乱れ、その景観は圧巻である。





東山ふれあい樹林・ 東山の水辺のアジサイ

所在地：瀬谷区宮沢二丁目



東山ふれあい樹林は、瀬谷市民の森を源流として瀬谷区を南北に縦断する和泉川の水辺の一つ「東山の水辺」と調和し、一体の景観を形成している。また、川沿いに整備された散策路では、梅雨の季節になると、平成11年の瀬谷区制30周年記念で植栽した瀬谷区の花「アジサイ」を楽しむことができる。





東横フラワー緑道

所在地：東急東横線東白楽駅から横浜駅周辺



みなとみらい線と東急東横線の相互直通運転に伴い、地下化された東白楽駅から横浜駅間の鉄道跡地を緑道として整備したもので、平成23年に完成した。舗装の一部に元の軌道を残し、鉄道跡地の面影が感じられる。複数の愛護会により花壇の管理や緑道の清掃が行われ、心地良い歩行者空間が形成されており、平成27年度に第7回横浜・人・まち・デザイン賞 まちなみ景観部門を受賞した。





ふと おづみ
太尾堤緑道・新田緑道・
くらべやと
倉部谷戸遊歩道

所在地：港北区新吉田八丁目、新羽町、大倉山六丁目、大倉山七丁目



新羽駅周辺には心地良い緑道が複数存在する。鶴見川東側の太尾堤緑道は鳥山川を埋め立てて整備した南北1.2kmの緑道で、平成元年に開催された第1回横浜彫刻展で優秀作品に選ばれた8点のオブジェによって屋外ギャラリーのような空間が形成されている。鶴見川西側の新田緑道は排水路跡地を整備したもので、それと繋がる倉部谷戸遊歩道と共に、ベンチで休憩しながら四季折々の植栽を楽しむ地域の人々の姿が見られる。





野庭団地の緑道

所在地：港南区野庭町



昭和40年代に開発された大規模住宅地である野庭団地内の歩行者専用道は、道沿いの成長した木々がトンネルをつくり、緑豊かな空間となっている。四季折々の姿を見せる木々や緩やかな起伏、曲がり角など、時間や場所により表情を変える変化に富んだ遊歩道は、地域の人々に親しまれている。





みち 四季の径

所在地：泉区緑園三丁目・六丁目



緑園都市駅からこども自然公園に続く歩行者専用道路。全体を春・夏・秋・冬のゾーンに分け、季節を彩る樹木が植えられており、四季にちなんだ絵タイルも施されている。また、各ゾーンのポイントには、三角広場、レンガタイル貼りのアーチ形陸橋、公園などが配置されている。平成元年度にまちなみ景観賞を受賞し、緑園のシンボリック存在となっている。





江川せせらぎ緑道

所在地：都筑区池辺町、東方町、川向町



かつて農業用水路として利用されていた江川は、平成8年以降、江川の上流に位置する都筑水再生センターの高度処理水を流し、緑化や遊歩道の整備を行うことで、せせらぎ緑道として水辺を散策できる憩いの場になった。春になるとせせらぎ沿いに連なるように桜とチューリップが美しく咲き、多くの人々が訪れる都筑の花の名所となっている。





水道道の尻こすり坂

所在地: 西区西戸部町1丁目付近



野毛山と藤棚方面を結ぶこの坂は、勾配が急なため、車をひく人たちがお尻で抑えながら進まなければならなかったことが由来となり、尻こすり坂と呼ばれるようになった。また、明治 20 年に相模川と道志川の合流地点から水を引いた導水管が敷かれたことから、水道道の名を残す。上り下りを繰り返す急坂のてっぺんからは、反対側の坂のてっぺんが見え、独特な景観を形成している。





ワシン坂

所在地: 中区山手町



山手町から小港町に至る延長約250mの坂道。地名の由来には「和親条約」にちなむ説や「ワシンさんの住居があった」とする説、さらには坂下に清水が湧き出るところから「ワキシミズザカ」からの語源の変化など、諸説が伝えられている。坂の上からは港を一望できる。





道(その他)

金沢歴史の道

所在地：明治憲法草創の碑～君ヶ崎交差点周辺
(金沢区寺前一丁目・二丁目、町屋町、洲崎町付近)



旧国道沿いには、龍華寺(りゅうげじ)や明治憲法草創の碑など中世から現在までの歴史を感じさせる神社仏閣や史跡が多く残されており、「金沢歴史の道」と呼ばれる。要所に案内サインが設置され、金沢の歴史を訪ねながら、楽しく歩くことができる工夫がされている。





道(その他)

海軍道路

所在地: 瀬谷区瀬谷町



瀬谷駅の北西にある「瀬谷中学校前交差点」から旧国道16号までの約3kmを結ぶ道路。長い直線の道路が特徴的な景観を生み出している。両側には約380本のソメイヨシノ、約30本のヨウコウ桜が植えられており、春は桜並木として人々に親しまれている。



ろく どう つじ

宮沢六道の辻



道(その他)

所在地: 瀬谷区宮沢四丁目



6つの道が交差する珍しい景観が形成されている。周囲には農地が広がり、のどかな風景が残されている。この地域は江戸時代に行われた検地に先立ち、上矢部村(現在の戸塚区)の農民によって開墾されたと言われている。六道の辻とは仏教でいう、地獄、餓鬼(がき)、畜生(ちくしょう)、阿修羅(あしゅら)、人間、天上へのわかれ道のことで、地藏尊がその道を示され、当時の農民はこの地に自分達の終生末代の安楽を求め願った。横浜弘明寺観音と座間市の星の谷観音を結ぶ巡拝の道は、星の谷道と呼ばれている。



そうじじ
總持寺



所在地：鶴見区鶴見二丁目



1321年に瑩山(けいざん)禅師が石川県にあった諸嶽寺(もろおかでら)を諸嶽山(しょがくざん)總持寺(現在は曹洞宗大本山總持寺)と改めたのが始まりで、明治時代の焼失を機に現在の位置に移転された。緑で囲われた広い境内には本山最大の建造物「大祖堂」、国の登録文化財に登録された「仏殿」など複数の建造物が建ち並んでおり、地域の代表的な景観の一つとなっている。



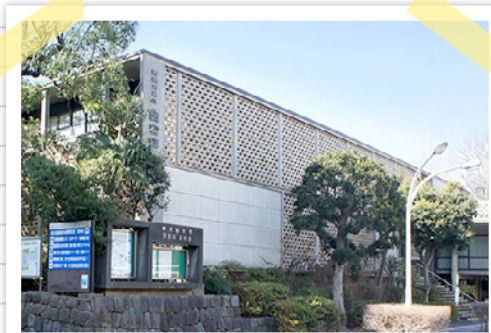


神奈川県立図書館

所在地: 西区紅葉ヶ丘



隣接する神奈川県立音楽堂と一体の建築物として、昭和29年に竣工した。前川國男が設計した初めての公共施設で、戦後の日本近代建築の代表作である。コンクリート壁面の重厚感とホローブリック(穴あきブロック)・大きなガラスの軽快さの対比が特徴的な意匠となっており、文化芸術の発信拠点としての紅葉ヶ丘地区の景観を象徴する大切な存在である。





神奈川県立音楽堂

所在地：西区紅葉ヶ丘



前川國男の設計により昭和29年に竣工した、公立施設としては日本で初めての本格的な音楽専用ホール。隣接する神奈川県立図書館とL字型に配置することで、前面に開放的な広場空間が設けられている。深い庇や大きなガラス・穴あきブロックで構成される水平垂直を強調したモダンな意匠は、緑豊かな紅葉ヶ丘地区に馴染み、品のある落ち着いた佇まいを見せている。





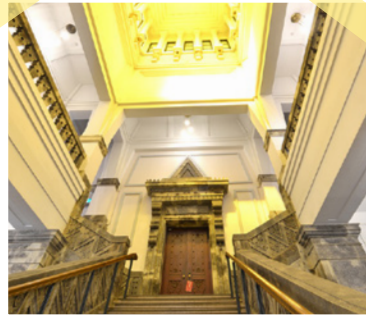
横浜市大倉山記念館

所在地: 港北区大倉山二丁目



昭和7年に大倉邦彦により大倉精神文化研究所本館として創建された建物は、昭和56年に市に寄贈され、大改修の後、昭和59年に横浜市大倉山記念館として開設した。プレ・ヘレニック様式を取り入れたギリシャ神殿風の外観や神社建築の木組みを用いたホールなど、東西文化が融合した独特な建物で、地域の景観の一つとなっている。平成3年に市指定有形文化財に指定された。

*ホールやギャラリー、各集会室は市民利用施設として貸し出されています。





長屋門公園 (旧大岡家長屋門及び旧安西家住宅主屋)

所在地: 瀬谷区阿久和東一丁目



広さ3.5haの歴史体験ゾーンと自然観察ゾーンで成り立つ公園。歴史体験ゾーンには、平成4年改修の旧大岡家長屋門と、平成4年復元の旧安西家住宅主屋の2件の市認定歴史的建造物を含む建物群があり、年間を通じて様々なイベントが行われる。自然観察ゾーンには自然観察林や雑木広場、せせらぎの水辺など、緑豊かな景観が残され、守られている。



横浜市農村生活館 みその公園 「横溝屋敷」(旧横溝家住宅)



所在地: 鶴見区獅子ヶ谷三丁目



江戸時代の農村生活の原風景を残している貴重な文化遺産であり、主屋・長屋門・蚕小屋・穀蔵・文庫蔵の5棟は「旧横溝家住宅」として昭和63年に市指定文化財に指定されている。古民家の保存と活用を図る横浜市最初の施設であるみその公園「横溝屋敷」として平成元年から一般公開されており、当時の農村生活の資料が展示され、農村の年中行事などの生活体験ができる場となっている。



おおはら ずいどう

大原隧道



建造物(建物以外)

所在地:南区南太田二丁目、清水ヶ丘



昭和3年に水道本管敷設のために造られた、長さ254.5m、高さ3.62m、幅2.44mの馬蹄形のトンネルを、平成6年にプロムナードとして整備した。両側の出入口は、フランス積みで積まれたレンガと花崗岩によって装飾されており、平成12年度に市認定歴史的建造物に認定されると同時に第1回横浜・人まち・デザイン賞まちなみ景観部門を受賞し、平成18年には土木学会選奨土木遺産に認定された。



ゆうしょう ばし

夕照橋



建造物(建物以外)

所在地:金沢区野島町



歌川広重によって描かれた「金沢八景」の一つ「野島夕照」として知られている場所に架けられており、平潟湾の野島と六浦町を結んでいる。現在の夕照橋は昭和60年に建設されたPCスラブ橋で、木橋をイメージし、歴史性を配慮した擬宝珠型高欄や照明のデザインとなっている。なお、第1回まちなみ景観賞及び第1回手づくり郷土賞を受賞し、神奈川の橋100選にも選出されている。





昇龍橋

建造物(建物以外)

所在地: 栄区長倉町



いたち川に架かる、幅1.4m、橋長5.5mのアーチ型の石橋で、石造橋としては市内最古と考えられ、周囲の落ち着いた水辺と共に歴史的景観を残している。既に移転した白山神社の参道橋であったと考えられ、建築年代は明治中期～大正4年以前と推定されている。かながわの橋100選に選出されており、平成13年には市認定歴史建造物に認定された。



けんざん

嶮山中央橋



建造物(建物以外)

所在地: 青葉区すすき野一丁目・二丁目



昭和49年に竣工した橋長80m、有効幅員6mの2径間PC斜張橋。周辺には住宅地や小学校、公園があり、小学校の通学路にもなっている。高くそびえる主塔と、左右対称の斜材ケーブルによるシルエットが美しいこの橋は、地域のランドマークとなっている。



てんのうもりいずみやかた

天王森泉館(旧清水製糸場本館)



産業遺産

所在地: 泉区和泉町



明治44年に清水製糸場の本館として建設された建物で、昭和6年頃には左側半分が約500m北から現在の敷地に移築され、個人の住宅として利用されていた。平成9年の天王森泉公園の整備に際して、当時の姿に復元され、市認定歴史的建造物に認定された。その歴史的な景観は現在も残されており、吊るし雛展や古民家ライブなど一年を通して様々な行事に利用され、地域に親しまれている。





神奈川宿歴史の道

史跡・遺跡

所在地: 神奈川区台町～新町



神奈川宿の歴史を残す要所へのガイドパネルの設置、その足元の歩道における「青海波(せいがいは)」のシンボルマークのデザイン、街路灯や車止めの歴史を生かしたデザインなどの工夫により、歩いて楽しめる歴史の道づくりがなされている。また、歴史の道のほぼ中央部には松並木があり、地区センターに接する小広場の一画には高札場が復原されている。





戸塚駅周辺の 旧東海道戸塚宿史跡群

所在地: 戸塚区吉田町、矢部町、戸塚町



戸塚宿は江戸方見付跡と上方見付跡に挟まれた約2.3kmの範囲とされており、一里塚や道標、本陣跡など多くの史跡が現在も残っている。区制70周年記念として、「地図がなくても迷わずに歩ける旧東海道」を目指し、街道沿いの迷いやすい場所や歴史的に重要な場所に「旧東海道みちしるべ」が設置され、歴史を生かした景観づくりがなされている。





茅ヶ崎城址公園

所在地:都筑区茅ヶ崎東二丁目



中世城郭の傑作ともいわれており、市指定史跡である「茅ヶ崎城址」を歴史公園として整備している。茅ヶ崎城は中世・室町時代に地形を上手く利用し、小田原北条氏によって築かれたと推定されている平山城であった。東・西・北・中の各郭(居住区域)、空堀、土塁、土橋、井戸など、城を構成するものの解説板が整備されており、その歴史を学ぶことができる。



市ヶ尾遺跡公園

いちが お おうけつ こ ぶんぐん (市ヶ尾横穴古墳群)



所在地:青葉区市ヶ尾町



市ヶ尾横穴古墳群を文化財として後世に伝えるため整備された歴史公園。古墳群は、6世紀後半から7世紀後半にかけて作られた計19基の横穴墓から成っており、昭和31年に県指定史跡に指定された。覗き込むことができるものや中に入れるものがあり、古代につくられた景観を身近に感じることができ、小学生の社会科見学の場にもなっている。





金沢シーサイドタウン

所在地：金沢区並木一丁目、並木二丁目、並木三丁目



市の六大事業の一つ「金沢地先埋立事業」により、1970年代から造成された。中でも並木一丁目エリアは榎文彦をマスターアーキテクトとし、街の外側を取り囲むループ道路と広い並木道、高さに強弱をつけた建物群、足元に配置された空地等街全体がデザインされている。公園として整備された旧富岡漁港跡には心地良い親水空間が広がっており、並木二丁目エリアの中心6街区は4人の建築家により个性的かつ周囲と調和した建物が建てられ、軸となる緑に囲まれた歩行者専用道路を人々が行き交っている。





さちが丘A地区

所在地:旭区さちが丘



建築協定を締結している住宅地。敷地境界は原則生垣とし、フェンス等工
作物物の設置については運営委員会の承認を得なければならない。その他
にも建築物の軒の高さは地盤面から7.5mを超えてはいけない等の基準
があり、各戸の生垣等の植栽が連なり、緑豊かで整った景観を形成して
いる。さらに、居住環境を高めるため、住民たちで「さちが丘A地区まちづ
くり指針」を定め、外壁色の周囲への調和などを求めている。





若葉台団地

所在地:旭区若葉台三丁目



昭和54年より東西1.2km、南北0.8kmの広大な自然の中に、高層住宅を中心に病院・銀行・教育施設・ショッピングセンターなど、都市の便利施設が計画的に整備されたまち。敷地内にある多数の公園や張り巡らされた歩行者専用道路は緑豊かで、四季折々の表情が見られる。また、高層住宅の色彩のグラデーションは特徴的な景観をつくりだしている。





竹山団地

所在地: 緑区竹山一丁目～竹山四丁目



団地住民により、地区内の植栽の管理や美化活動、花火大会等の年間を通したイベントの実施といったまちづくり活動が行われている。また、広い地区内には様々な形状の建物が建ち並び、特徴的な景観をつくりだしており、その中央にある竹山池を前景とした団地景観は、地域の人々に親しまれている。





美しが丘中部地区

所在地：美しが丘一丁目～四丁目、元石川町



昭和47年に全国初と言われる住民発意の建築協定を発足させた当地区は、その後地区計画を策定し、それを補う地域の自主ルール「街づくりガイドライン」をまとめ、地域住民と「街づくりアセス委員会」の活動により、良好な住環境を守っている。地区内には歩行者専用道路や遊歩道が多く設けられ、歩車分離がなされていると共に、クルドサック式の道路や、建築物の意匠配慮等により、美しい街並みが形成されている。





みすずが丘地区

所在地:青葉区みすずが丘



建築協定を締結している住宅地。土地区画整理事業により、良好な環境の市街地整備が行われ、平成7年度に大場第二土地区画整理組合は第11回まちづくり功労者賞を受賞した。幹線道路の無電柱化、地区の中心に配置された並木道、ハーフティンバー様式風の住宅群、全戸に通信ケーブルを敷設することによるテレビアンテナの排除等の取組によって、地区全体として良好な景観が形成されている。





吉田町の街並み

所在地：中区吉田町



戦後復興期に都市の防災を目的として建てられた長大な壁面を持つ不燃建物「防火帯建築」を活用した独特の景観が形成されている。低層部には多くの飲食店やギャラリー、オフィスが建ち並び、近年には内部をリノベーションし、コワーキングスペースやライブラリーカフェ等の空間もできている。また、年に複数回、吉田町本通りを封鎖した地域ぐるみのイベント等も行われ、賑わう様子が見られる。





弘明寺商店街

所在地:南区弘明寺町、大岡二丁目、大橋町三丁目、中島町四丁目、通町四丁目



古くから横浜最古の古刹・弘明寺観音の門前町として栄え、現在も活気のある商店街。「ぐ」の文字を使ったシンボルマークのバナーは、アーケードの特徴的な景観の一つとなっている。アーケードの改築など活性化のための取り組みや地域活動・市民活動と協力・連携した活動などが評価され、平成14年度に横浜・人・まち・デザイン賞まちづくり活動部門を受賞した。





横浜橋通商店街

商店街

所在地: 南区高根町一丁目、白妙町一丁目、浦舟町一丁目、真金町一丁目、真金町二丁目



戦前から商店街として賑わいをみせている。昭和40年代から、アーケードの新築、カラー舗装整備、BGM放送の開始、防犯カメラの設置など、商店街としてのサービス向上を図っており、平成7年度にはアーケードとカラー舗装の整備が、第6回まちなみ景観賞を受賞した。また、アーケードは受賞時のイメージを踏襲しつつ、平成25年にリニューアルされた。





大倉山エルム通り商店街

所在地：港北区大倉山二丁目、大倉山三丁目



昭和63年に商店街近代化事業の国内第1号として、自主的に官民境界から2mセットバックして歩道を作り、建築物はプレヘレニズム様式の大倉山記念館を模したデザインに統一する等、地域の人々によって特徴的な景観が形成された。平成24年には「大倉山エルム通り街づくり協定」を作成し、建築物や看板のデザインや色彩のルール等を運用することで、現在も統一感のある美しい街並みを維持している。





国道1号沿いの緑化活動

所在地:北寺尾地区(鶴見区東寺尾北台、諏訪坂、北寺尾二丁目、北寺尾一丁目、東寺尾中台 付近)



国道1号線の開通により、かつて里山であった地区の緑が失われてきたことを課題に感じた沿道の事業者と住民を中心に、鶴見「みどりのルート1」をつくる会が結成され、沿道の民有地の緑化を繋ぎ、一体感のあるまちの魅力としての緑をつくる地域緑のまちづくり活動を行っている。





地域の活動

六角橋商店街のドッキリヤミ市場

所在地：神奈川区六角橋一丁目



昭和の面影を残すレトロな商店街で、約170店舗が建ち並んでいる。平成9年以降、毎年4～10月(8月を除く)の第3土曜日の午後8時より「ドッキリヤミ市場」と命名した、店舗閉店後のシャッター前で行うフリーマーケットやライブパフォーマンス、大道芸、飲食販売等の複合イベントを行っており、老若男女様々な人たちで賑わっている。



おとしり

大鷲神社の祭り景観(酉の市)



所在地: 南区真金町



毎年11月の酉の日に開催され、多くの参拝客でにぎわう酉の市は、平成3年に市の無形民俗文化財に登録された。例年酉の市では、境内に数百の提灯を掲げられ、周囲では大小さまざまな熊手が販売されており、その明かりや活気は地域の大切な景観となっている。





制度の運用

浜マーケット

所在地：磯子区久木町



戦後まもなくの昭和20年に疎開道路の一部分の約11mの道に、一間間口の店が片側5、6軒、計10軒ほど並んだのが始まりとされる、アーケードが特徴的な下町の商店街。地域の人々によって、商店街の賑わいを維持・創出し、かつ地域の防災性を向上させる取組が継続的になされており、活気ある賑わい景観が見られる。横浜市地域まちづくり推進条例に基づく地域まちづくりプランやルールも策定・認定されている。





制度の運用

アトラス上大岡ガーデン地区

所在地: 港南区東芹が谷



建築協定と緑地協定を締結している住宅地。建築協定では、建築物の屋根、外壁の色彩並びに門柱、敷地の舗装及び屋外広告物が周囲の景観と調和するものとする、敷地内に高木1本以上を設け、かつ敷地面積の20%以上の緑地を確保するものとするといった基準が定められており、緑豊かで整った良好な景観が形成されている。





制度の運用

白山ハイテックパーク

所在地：緑区白山一丁目



6社の企業が所在する、先端技術産業の研究・開発の集積地。建築協定によって、建築物の意匠や色彩の配慮、積極的な敷地内の緑化、敷地内外周部の緑によるマウンド化等を定めている。また、地区内には所々にポケットパークがあり、緑豊かで落ち着いた空間が形成されている。





制度の運用

荏田北二丁目地区

所在地: 青葉区荏田北二丁目



地区計画で、建築物の形態意匠について周辺のまちなみへの調和や刺激的な色彩を用いないこと等を定めるとともに、地元自治会内の「住環境委員会」で運用する「荏田北二丁目まちづくり協定」では、建物の外壁の色彩、仕上材料、植栽等について詳細に定めることで、主にレンガ調を基調とした建物が建ち並び、かつ緑豊かな良好な景観が形成されている。





野毛山公園からの富士山と みなとみらい21地区の眺望

所在地: 西区老松町



大正15年に開園した区内最大の公園で、入園無料の野毛山動物園を有する公園になっている。高台に位置するため、野毛のつり橋からは富士山が、展望地区の展望台からはみなとみらい21地区が一望できる。





本牧山頂公園からの 街並みと港の眺望

所在地：中区和田山



米軍の住宅用地跡地を公園として整備し、平成10年に開園した。広大な土地には複数の丘や広場とそれらを繋ぐ散策路が整備されており、既存の大木を含むまとまった緑を楽しむことができる。また高台に位置するため、付近の街並みや港の工場風景、ベイブリッジ等の眺望を望むことができる。





横浜市児童遊園地からの 富士山の眺望

所在地:保土ヶ谷区狩場町



元来の地形や樹木を活かして整備された、豊かな自然が残る公園。14haを超える園内には、樹林の他に広場や園路、遊び場、池等、多様な施設が整備されており、年間を通じて様々な行事が行われている。高台に位置する富士見広場からは、その名の通り富士山が一望できる。



野島公園からの富士山と 海の眺望



所在地:金沢区野島町



野島公園は、横浜市最南部の平潟湾の入口に浮かぶ小さな島にある公園で、歌川広重によって描かれた「野島夕照」で知られる。海拔57mの野島山の展望台の眼下には隣接する海の公園や八景島が広がり、晴れた日には遠く丹沢、富士の山並みや房総半島を望むことができる。





鍛冶ヶ谷南公園からの 富士山の眺望

所在地: 港南区日野南七丁目



高台にある公園からは、富士山が裾野から見え、箱根、丹沢の山並みも一望できる。特に冬の夕景は、道行く人も思わず立ち止まり見惚れてしまうような景色が広がっている。なお、ローラー滑り台や健康遊具等も設置されており、老若男女問わず楽しむことができる。

